



# 株式会社菅原組

社内報

vol. 12

2020年9月号

## 社員紹介

VOL.12  
2020年9月号

工事本部 工務部 重機係長

いしとまさひろ  
石戸 雅洋入社のきつかけ

私は元々陸上自衛隊に所属しておりました。自衛隊を辞めることになり、自衛隊時代に取得した大型や重機関係の免許を活かせる仕事はないかと探していたところ、保育所の頃から付き合いのある同級生から声をかけてもらいました。既に菅原組で働いていた同級生から、菅原組が非常に良い会社であると勧めてもらったことが入社のきつかけです。

業務内容

2020年2月頃から土工の仕事をしています。以前はクレーンのオペレーターの仕事を行っていましたが、今の現場ではクレーンには乗っていません。現在は台風や津波、高潮による災害を減災するための防潮堤の工事を行っています。

仕事のこだわり

重機を扱っての作業は、小さなミスが大きな事故につながる危険がある仕事なので、事故を起こさないように常に気を配っています。オペレーターをしていた頃は、頻繁にクレーンから降りて、重機の状態に異変がないか、トラブルが起きていないかチェックするように心がけていました。

思い出に残っている仕事

クレーンを扱った仕事は全て心に残っていますが、その中でも2016年頃から3年半〜4年に亘って携わっていた防潮堤工事が一番思い出深いです。これほどまで長期に亘って同じ現場を担当することは珍しいため、今でも印象に残っています。初めて使用する型枠が多くあったので、最初の頃は取り扱いに苦労しました。

今後の目標

重機に関わる仕事を何でもこなせるようにしていきたいと思っています。現在は土工を



石戸さん

菅原さん

成田さん

担当していますが、自分自身でちよつとした重機の故障に対応できるように、重機の整備について勉強し、知識を深めていくことができればと考えています。

# 部所 紹介

## 《港湾業務艇 しらゆり》

それぞれの部門で個性を発揮する仲間たち。そこではどんな業務が行われているの？ 自慢できる場所は？ 知っているようで知らない、みなさんの職場の様子を探ってみましょう！

船長

みやざき きよし

宮崎 清志さんに  
聞きました！



▲港湾業務艇しらゆり



### 主な業務

**発** 注者所有の港湾業務艇「しらゆり」を江差港及びその周辺海域の港湾工事にかかる工事監督等に就役させるため、受注者である当社により運航をするものです。

北海道開発局函館開発建設部江差港湾事務所において、運航をしています。江差港の外、遠くは瀬棚港、奥尻港や青苗漁港まで運航しています。海が時化した時は江差港での防波堤の点検を行ったり、GPSを用いて海底の測定をしたりしています。地域や学校などから依頼があった場合には、港の見学会を行うこともあります。

### こんな業務をしています

①工事監督・検査業務 ②環境等調査業務 ③機器等設置管理業務 ④港湾施設・港内点検業務 ⑤港湾施設保安業務 ⑥沿岸防災支援等業務 ⑦港内巡視 ⑧現場案内業務 ⑨その他の業務を行っています。



▲綱取りをする下川部さん

### メンバー

船長

みやざき

きよし

宮崎 清志

甲板員

しもかわべ

かつとし

下川部 勝利

### メンバーについて

**下** 川部さんは現在、御年68歳。前職から一緒に仕事をしており、かれこれ14年目の付き合いになります。2006年に初めて知り合った当時、私は甲板員でした。船長だった下川部さんに、船に関することを1から10まで教わりました。現在でも、何か困ったことがあれば相談できるので、いつも感謝しています。



▲宮崎船長と下川部さん

### 気をつけていること

**安** 全第一で、事故がないように安全に運航することを心掛けています。発注者から委託されている船舶を傷付けないように、海には漁網や流木、ゴミなども漂流しているので、船のプロペラで巻き込まないように注意して避けながら運航しています。長期間ともに働いてきた強味を活かし、甲板員が海を見張り、船長が操舵するという連携を上手に取り、今後も安全な運航を心掛けます。



▲操船する宮崎船長

# CHECK! 現場レポート

あんな現場やこんな現場、あなたの知らない現場や事例について  
このページで紹介しちゃいます!



▲型枠組立状況

**現場名** 噴火湾周辺地区  
山越落部増殖場造成工事

**着工日** 令和2年5月30日

**完成予定日** 令和3年2月20日（契約工期）

**メンバー**

なかにま けんいち  
工事部 工事主任 **中嶋 憲知**さん

ほか全員で12名で作業をしています。



## 現場について

マコンブの増産を対象とした増殖場の造成を目的として、アルガーリーフARW 6-3F(SS)を50基製作して海中に据付する工事です。



## 大変だったこと

屋外での作業であるため、猛暑日は暑さをより厳しく感じます。夢中になって作業をすると熱中症になる危険性があり、水分補給をこまめにしました。さらに、互いの顔を見ながら休憩を多めに取るなど、体調を整えながら業務をしています。また、今年にはコロナ対策もしなければなりません。屋外の作業であっても、密にならずに作業をすることも心がけてきました。



コンクリート打設状況▶

## 作業にあたり気をつけるべきポイント

クレーンを使って重量物を吊る作業があります。物や人が挟まることや落下事故など、常に危険との隣合わせ。安全面には十分気をつけ作業をしています。例えば、クレーンを操縦する人と指示をする人は、互いが見える位置に立ち作業をすること。当然のことではありますが、当たり前を徹底することこそ、無事故に繋がっていると思います。



## 作業にあたっての感想

事故と隣合わせだということを念頭に置き、安全性を最優先で行わなければならないと思っています。まだまだ残暑が続きますので、無理せずに安全第一で頑張りましょう!

## 社員の皆様へのメッセージ

気温の変化やコロナには十分気をつけ、事故なく業務を取り組んでいきましょう。安全が第一!それぞれの場で頑張ってください!

ブロック転置状況▶



# CHECK!

# 現場レポート



**現場名** 函館港若松地区岸壁改良工事

**メンバー**

**着工日** 令和2年4月25日

工事部 係長

おさない ひさし  
**長内 久さん**

**完成予定日** 令和2年10月31日

工事部 工事係

こだま しょうた  
**児玉 翔太さん**

工事部 工事係

おがさわら ひじり  
**小笠原 聖さん**



▲左から児玉さん、長内さん、小笠原さん

## 現場について

国土交通省北海道開発局函館開発建設部の発注による、大型クルーズ船を着岸させるための岸壁工事です。工期は4月からとなっていますが、9月から本格的に工事が始まります。通常より大きな防舷材を設置するなどの違いはあるものの、漁船や作業船が使うような通常の岸壁と基本は変わりません。重機は大小2台ずつ投入される予定で、小さい重機は端の部分を担当するなど、場所によって使い分けされます。作業船も投入される予定で、繫留作業を行う船員用の橋を架けるために使われます。作業の流れとしては、舗装作業、防舷材などの付属物の設置、橋の建設、外灯工事を行って完成となります。

## 今後工事が本格化するにあたって

実質2か月間という比較的短い工期で終わらせなくてはならないので、効率の良い作業が求められます。そのため、協力会社も含めて全員の体調管理に気をつけて作業にあたらなくてはならないと思います。作業所の私を含め、3名の社員で連携を取りつつ、協力会社とのコミュニケーションも大事にしなくてはならないと感じています。



## 作業にあたり気をつけるべきポイント

最初に行う舗装工事では、重機の接触事故に注意なくてはなりません。また、作業船も1日だけ使う予定ですが、その際にも函館港を回る遊覧船との接触にも気をつけなくてはなりません。見張り役をつけ、事故防止を徹底したいと思います。

## 社員の皆様へメッセージ

これから季節の変わり目を迎えるので、体調管理に十分に気をつけるとともに、最後まで無事故を目指して作業に従事していきましょう！



# インターンシップを終えて —— 体験レポート ——

7月25日から5日間に亘って、  
学生が当社でインターンシップの体験をしました！  
果たしてどんな体験となったのでしょうか……！？  
必見です！

## 【参加者】 函館工業高等専門学校

社会基盤工学専攻科 1年  
辻廣 咲希さん

海洋土木を学んでおり、  
関係する仕事への  
就職を希望！

社会基盤工学科 4年  
河内 毅児さん

海洋土木のことを  
知らなかったため興味がわき、  
インターンシップを希望！

社会基盤工学科 4年  
井口 幸大さん

港町で育ち、幼い頃から  
港湾工事を身近に感じていました。  
授業の一環で企業インタビューを  
行っていたこともあって菅原組での  
インターンシップを希望！

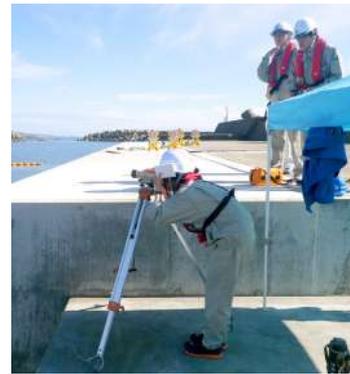
## 【体験した現場】 漁港整備工事現場など 【スケジュール】

### 1日目

オリエンテーション、函館開発建設部函館港湾事務所での  
事業概要説明

### 2日目～5日目

本格的な実習に入り、松前町江良漁港でトータルステーション  
測量やCAD現況図面作成、ブロック製作作業の写真撮影及び  
管理、基礎工中割石の数量算出などに取り組んだ。  
起重機船への搭乗や地上・水中ドローンの操縦も体験。



## 【感想】

### 辻廣さん

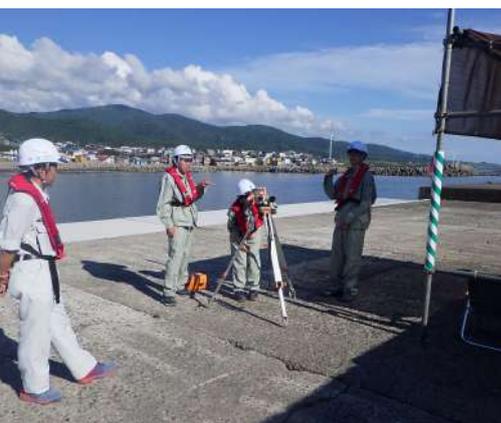
準備が8割と聞いていたが、実際に起こり得る全てのことを想定して入念に準備しており、段取りの重要性を肌で実感しました。

### 河内さん

学校で習ったことを基礎に、それを発展させていって実際の工事が行われていることが分かり、学校での勉強のモチベーションにもなりました。

### 井口さん

昔から見ていたものが出来上がっていく過程が分かって感動しました！



コンクリート打設作業も体験し「思ったより大変で、すごい力仕事」との感想をもらう3人。現場代理人からは「現場を背負う責任は大きく、プレッシャーもある」という話も聞き、仕事の厳しさを学びました。

それでも「職人さんの技や知恵はすごく、ものづくりが面白いという気持ちが深まった」と興味・関心の方が勝った様子。

「技術者として、作業する人がやっていることや苦勞を知っておくのは大事で、とてもためになりました！」と前向きな答えが返ってきました。

# 新入社員紹介

新たに菅原組に入社したフレッシュな社員をご紹介します!

## 工事部

サガ キリュウ  
嵯峨 輝竜さん



### Q1 趣味・特技を教えてください。

居酒屋に行くことです。一人で居酒屋に行くのが好きです!

### Q2 好きな食べ物を教えてください! Q3 苦手な食べ物を教えてください!

たこ焼き

エビ

### Q4 あなたの座右の銘を教えてください!

風林火山

### Q5 最近ハマっているものは何ですか?

神社などの観光です。2週間に1度は気になるところに行っています。

### Q6 これだけは負けないぞ!私の強みです!ということをお願いします。

汚い仕事や汚い物、汚い所にでも自ら進んで行けることです。

### Q7 今後の意気込みを教えてください!

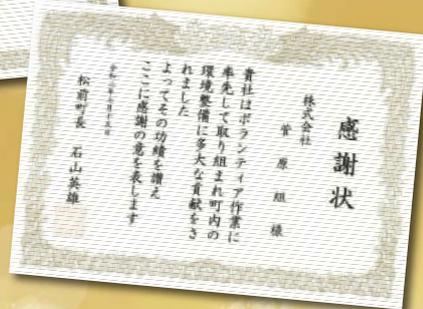
一日一日を大切に、一つでも多く知識を身につけ、少しでも上司や先輩の力になれるように努力をしていきます。よろしくお願いいたします。

## 表彰報告

# 感謝状を いただきました!

令和2年7月15日  
松前町長より、菅原組と菅原・横山 経常建設共同  
企業体で行ったボランティア作業に対して2つの  
感謝状をいただきました!

今後も地域貢献に力を入れ、笑顔あふれる活動を  
継続していきましょう!  
みなさんご協力のほどよろしくお願いいたします!



## HAPPY BIRTHDAY TO YOU!

### 9月生まれの皆さんをご紹介します。

9/4 工事本部工務部 係長  
(第十一すがわら号船団長)  
にしかわ りょうた  
西川 亮太さん

9/4 管理本部管理課 課長  
やまと ゆたか  
山登 豊さん

9/5 工事本部工務部 係長  
(第七すがわら号船団長)  
ふくはら あきみつ  
福原 昭光さん

9/19 工事本部工務部員  
大船渡営業所  
なりた みのる  
成田 稔さん

9/21 工事本部工務部 係長  
みずさわ りょうじ  
水澤 亮二さん

9/25 工事本部工務部 係長  
こひら ともき  
小平 智基さん

9/25 常務執行役員 札幌支店長  
やまだ えつろう  
山田 悦郎さん

9/27 代表取締役  
すがわら おさむ  
菅原 修さん

9/28 工事本部工務部員  
(第七すがわら号)  
ささき まさとし  
佐々木 優利さん

9/28 工事本部工務部員  
むらこし あゆみ  
村越 鮎美さん

9/30 工事本部工務部 課長  
あずま あきひろ  
東 昭浩さん